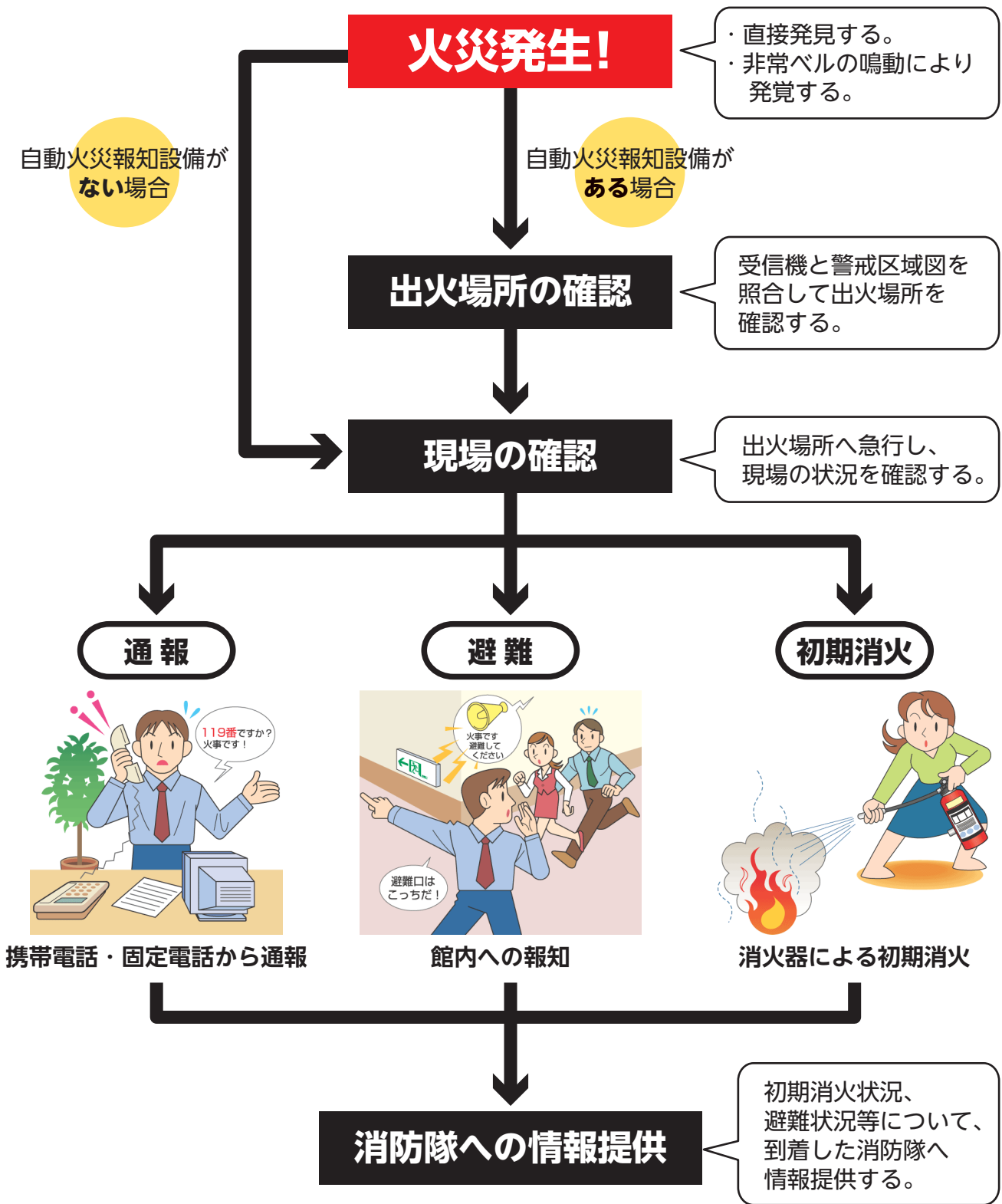


自衛消防訓練フローチャート



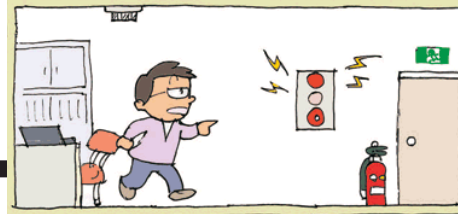
各行動のポイントを確認しましょう！

出火場所を確認する際のポイント

火災発生!

非常ベルが鳴りました。
どこかで火事です!

自動火災報知設備が
ない場合



自動火災報知設備が
ある場合

出火場所の確認



出火場所を受信機で確認します。火災表示
灯の点灯している表示窓を確認しましょう。

2階 警戒区域図

①会議室	②機械室
③食堂	④厨房

2階の
厨房だ!

警戒区域図で、火災表示灯が点灯した場所と
区域図を照合させます。

現場の確認

近くの消火器を持って出火場所へ
向かい、火災の有無を確認します。

火災を発見!



通報

避難

消火

役割分担ごとに自衛消防活動を開始します。

※実際の火災では、通報・初期消火・避難誘導を同時に実施しなければならない場合があります。

通報のポイント



火災を発見!



館内への報知

館内に大きな声で火事を知らせます。
協力者を求めることも大切です。



消防署への通報

固定電話、携帯電話などで
速やかに119番通報します。



119番通報メモ

1 火事ですか・救急ですか?

火事です・救急です

2 住所

市・区・町・村 町 丁目 番号
建物(ビル)の名称・階数・店名は...

3 何が燃えていますか (出火箇所はどこですか?)

4 目標となるもの

近くにある目標となるものは...

5 通報者の氏名

あなたの氏名

6 通報者の電話番号

電話番号

この公衆電話の番号は...

()

いざという時に備えて
必要事項を記入後、
電話機の近くに
貼っておきましょう!

※119番通報訓練を行う際は、
消防職員に
「訓練、訓練、火事です。」と
伝えてください。

避難誘導のポイント



火災を発見!



館内への報知

館内にいる方へ火災発生を知らせ、避難を開始するよう伝えます。



避難誘導

避難者を誘導します。非常口や避難階段の使用を促してください。

※エレベーターは、火災による停電で停止する可能性があるため、使用を禁止します。

※頭を低くし、ハンカチやそで口で鼻と口を覆い、煙を吸い込まないように進ませます。



避難者の確認

安全な場所で、避難者の人数や状況を確認します。到着した消防隊に、分かる範囲で以下の情報を伝えてください。

- ・逃げ遅れ、けが人の有無
- ・火災の発生場所、発生原因
- ・初期消火の実施状況
- ・危険物品の有無

初期消火のポイント



火災を発見!



初期消火の判断

天井まで火は届いていません。
まだ消すことができそうです。

天井まで
火が届いて
しまったら...

**すぐに
逃げて!**



消火器の準備

慌てずに消火器を準備します。



消火活動

出口（逃げ道）を背中側に確保したら、
火元に向けて消火薬剤を放出します。

※消防署では、訓練用の水消火器を貸し出しています。是非ご活用ください。